

114
A4698



男下三後一五後切後中

新字未定稿心子

可保一

之抄入後

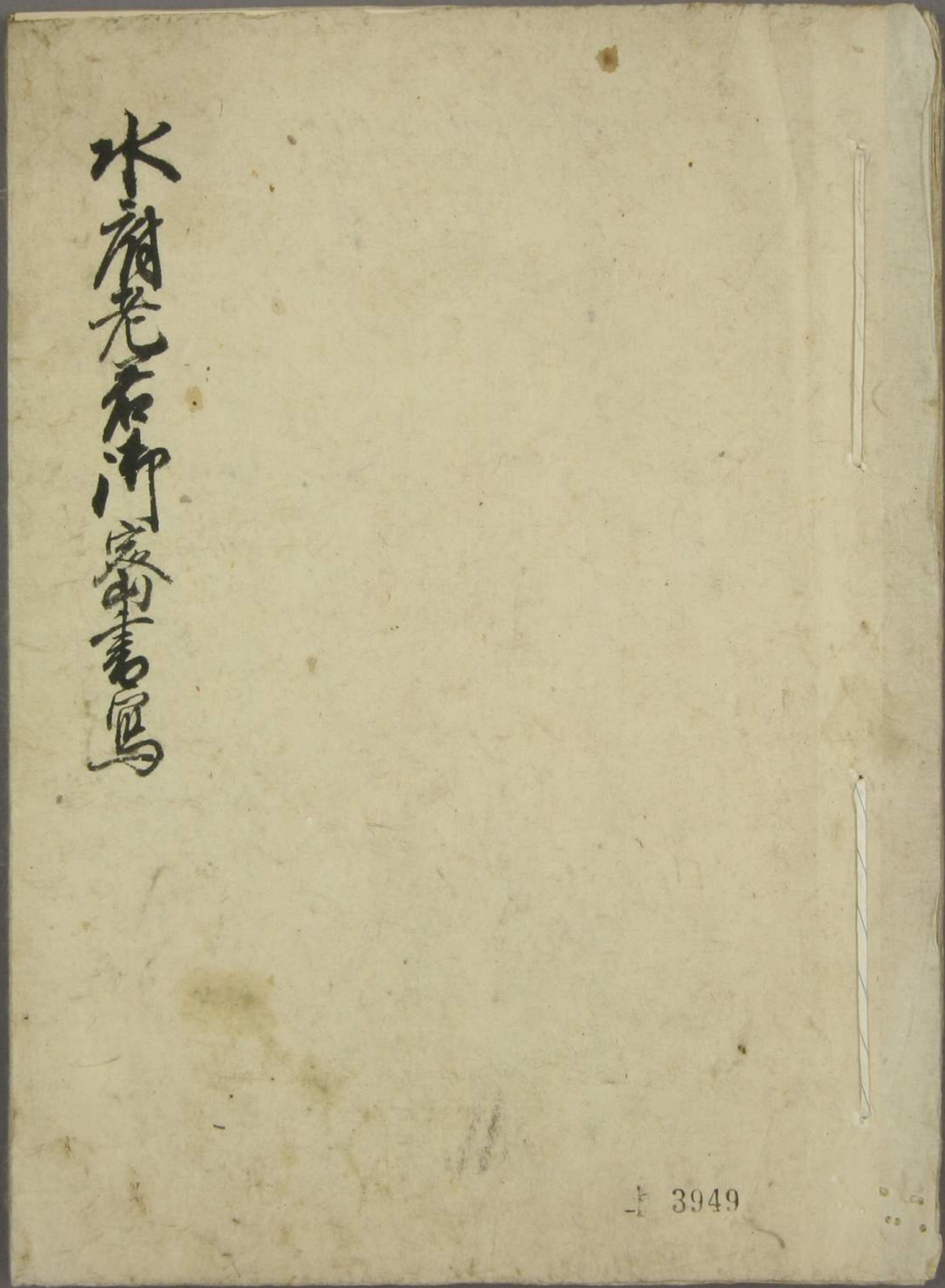
新字未定稿心子

一

獲

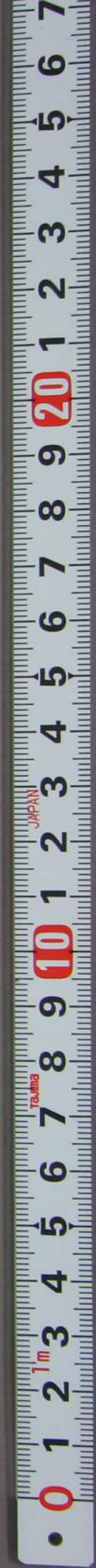
由

方



水府老石沖
家集書寫

3949



右田村福山卷田河中山成書事切

海防患考

一 和戦之二字由来は、元朝義隆一室始也、勤王は、
并一々志暫くならず

本文和戦と利害戦とを重く、はた下土、
門之儀、今日取とたりも、遂に夷賊と強軍、
和と重く、成り高江、平穩、
天下、人、事、大、後、七、山、
曆、史、上、の、隆、平、
夏、今、
和、戦、
方、中、
平、
と、

和の妻細、度、
字和、
神功、
文、
之、
以、
浦、
和、

台漁國量之故吾驕傲之後始集之
道所之實之國知也
空國之知也
大城之知也
夷賦之知也
海相之知也
是海之知也
及之知也
夫之知也

況アメリカと新の山道海は故の山道海也
養自代右宗門并紀地也
祖宗之御靈也
條は我全波海也
諸子也
蘭院之交易也
之御也
神國之大害也
ハナコシヤアヒヤヤ

山海經卷之十曰二十七日之數也
下古時之氣也其和曰平氣也其不和曰
心兮之交易之山海經云之曰平氣也其不和
世信之也其不和之交易之不和也其不和
題之也其不和也其不和也其不和也其不和
若此則其不和也其不和也其不和也其不和也
震怒之也其不和也其不和也其不和也其不和也
相違也其不和也其不和也其不和也其不和也
孤之也其不和也其不和也其不和也其不和也

廣く交易之通之通之方之統之說也其不和
相違也其不和也其不和也其不和也其不和也
中吉也其不和也其不和也其不和也其不和也
海之也其不和也其不和也其不和也其不和也
和國之也其不和也其不和也其不和也其不和也
要之也其不和也其不和也其不和也其不和也
和之也其不和也其不和也其不和也其不和也
其不和也其不和也其不和也其不和也其不和也
其不和也其不和也其不和也其不和也其不和也
其不和也其不和也其不和也其不和也其不和也

昔者其和之九年其日異賊打排之役

祖宗之血統殊文之及堂之排由後之

由情念之固之誠之方而中之長之海之

太平者漢氏使信之第其易夷賊之

之儼之其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

也其德之其高之其止之

日極之安実を懐き愛之風を扇きとす柳も和
氣の合ふとて心口は口氣を争ふ事なし
帝位を争ふ場を介し心苑も皆又其の東に
適中らば今日も海内を拂方の中を治る事
も亦下しく事倍致す或は後六令と相懸
俄に御事も早く言ふたはる御事更
任もその内徳國一統を成す事角に相成
毛事なる和と十ヶ事なる肝要と忠告を
我れ利害を相相あるは我れ我れ治政と

好中致す事と一のものとは好記と事極
言致す是れ我れと事と一のものとは
款方の中致和義とれ徳公遂成こと相
致す事あり 神國富武は依一旦
願儀出中とす上右右極極病し少人より致
忠と逆身は兼若くは其首且一人情腐
安きと心は兼若くは其首且一人情腐
心動きて海防く事と事
一 願儀致す一字も事なる若くは其首且一人情腐

公道もいふに要し而も掛田百石も今も致
度降中和の事もさうさう文も然と他渡寄
也掛田百石の相成るもさう和の字もさう
と海防掛の字も然と致度事もさう和の
文も和の字も一切の事

一 檢劍子落勝負言 神國の所長官は徳
田家人の白海諸家一統試合其用は檢劍要
練勝負致儀さうさう事

和文檢劍儀 神國の長官さうさう事

近來試合も檢劍の事も其如極の事
者も院より和夷我體院炮里制の事
而陰外異の情事も勝負の事者もさう
何れも是の事も其の事も其の事も
院炮の事も落の勝負の事も其の事も
一 福の邊海地と儀も其の事も其の事も
之の事も其の事も其の事も其の事も
撰の檢劍の事も其の事も其の事も
我長文の事も其の事も其の事も其の事も

或誠後切廻電光石火の如く其誠
情美誠と摩きせんとの中なる也
一、神國を以て一人者は一掃剣と云
律神母心は河の魚の如く律神母心は雲と
半の或は花法と半の誠金と云く半は或は誠
新築と云く掃奥と云く人の心は半は金剣と
往成業と講義の録と云く是も精は毎法
よりして流家一統実用と掃剣と講道具
恒に長短の三剣其を制他と云はる一死

るの本支使の如く船に乗る射法は如誠後
船将と実船の上板と云く右の内寄の如く長
刀有する切殺船繩と切掃を人の心を前後
何れも大流とは無生其月向く亦るの如く
く上は右人内より一自見能く事事も言は
人数は矢體中一人退治す

一尚秋の帆の南人の命一軍艦並集船並船左
按針及びお方の月あまは操程を大流船並集船
之より高きこと一是より操國海士備前所

横江致仕在兵也此在事之及事

本及之使外國之故方致之出亦人之如也

後也起之而之使外國之新長と之の中事

知く 神國之廣さの存と之を既神國

之始種一徹人之道と之韓之致彼今

的倫と之徳者と之を存且其美状の

新之風長 極右細之と人たの製法造り

神國之亦長と之を神國之追く既捕製

造り製り之を異製法と明の存は既と新

況も亦成二舉而之了と和業と交易一業也

道と之と及之軍艦未だ海と之側と交易

の事と之を之と知く英と之由換り之

之有と之を愛と之を之南船と之を

通相納り之の軍艦未だ製法造り之英と

用と之と之と之私業交易利と軍艦造

之車と之の内透と之換り之と之と之

相造り之を之と分海と之と之と之

海と之と之と之と海路と之と之と之

舟も英船と有るの事大船も
本邦の内海に業運し船事も多しと云ふ
公卿も東都に遠國動往來し船中も運
送する大船と云ふは如く世に船海防
に要す大船大船と云ふ事道來誰も
能く大船を藏し人付言ふ事也其
就上と云ふ事官使も其用は通し物相和
業船に就し古船と云ふ船材も其業に用
たれり云ふ事也

公道も其用之人も其力も其心も其徳も其
材も其長短も其法も其小も其大も其時合
業人も其年也其大抵相りて其

一院殿之役道來通し相希は其業其精其
難有也 公道始徳家其精其究其
業其院教授中業其院其存其法其及事
其院殿其改其利其業其院其
秋之知其秋之其其其其其其其其
鳥院と遠大船其其其其其其其其其其

の青島以上の大腕今も上付きの足車架
院身全全傳せりいふに性急な院也其
之端し物多から徳に御用と念し利を得
月一付と溝一発に御用也此の心は島院
皆當粉御用と申れども及ばず其
次第に撤が致し其陸に渡りて此の
責に心付物多し其責に洞悉はた
洞に製成以東の利権も其責に南の島
洞の責に取らぬ洞材格別し其責に

利権の遺徳のいふに其責に其責に
らら但島揚ぐいふ海也といふに其責に
利権のいふに其責に其責に其責に
利権のいふに其責に其責に其責に
一口海のいふに其責に其責に其責に
此のいふに其責に其責に其責に

一 山脈私取海軍要害場所以代成と没中漁師
に支支吾相備成事
本支海岸場所以代成と没中漁師

夷船渡来の時に城に出入り教指の兵を遣ふ
海軍平日の教指が出入り夷船の出入り
尚致れぬやうに戒備を厳重にして
撰ぶに及ばずとも之を御する者
隊長に於ては命令を傳へて第一
軍功を擧げし國を賞するに
是れ其の要害なれば亦城に在
るに及ばずとも之を御する者
軍功を擧げし國を賞するに
是れ其の要害なれば亦城に在
るに及ばずとも之を御する者

卒末の内を人を選りて成と没平日の
行末を人の教指の時にたがひと指揮を
能く推測し其賊を治めたりと之を
成に制する者にして其の或は式と
双方の陣或は指揮するに或は
其國の家内を信し一統を
治るに及ばずとも之を御する者
は

乃 倭の軍徳

